



しなやかな心で

生徒 先生の授業は、2年生の「物理」からペースが断然速くなりましたよね。小テストも毎回あるので、以前にも増して緊張感を持つようになりました。

生徒 席が成績で決まるから気が抜けない！ただ、入試に向けてはそうであるのがよいと思っています。

先生 みんな、授業を変えた私の意図を受け止めて、「物理」を選択した覚悟を持ってきたようだね。

生徒 授業は難しいけれど、先生の「物理基礎」の授業で物理の面白さに目覚め、物理のことをもっと知りたいと思って、今の授業に臨んでいます。

生徒 私は、1年生の文理選択の時、先生に何度も相談し、締め切り後に無理を言って理系に変更して「物理」を選んだので、志望校合格に向けて頑張り抜きたいです。

先生 最終的に、自分のやりたいことに向き合い、人生に責任を持つと覚悟を決めた姿に感動したよ。

生徒 入学直後の集会で先生が話されていた「しなやかマインドセット」*がずっと心にあったんです。何事も前向きに捉えるその考え方に最初は否定的でしたが、本気で将来に向き合ったら、まだ勉強を始めてもいないのに諦めては駄目だと思うようになりました。

生徒 先生の言葉には力があるよね。私が難関大学への挑戦を決めたものの自信を持たずにいた時、「授業内容は最低限として、より高みを目指そう。その力はあるから」と先生に言葉をかけてもらい、勇気が湧きました。

生徒 私も先生から「学習習慣が定着して、模擬試験の結果も好調だから、生活リズムが整ったらもっと上をねらえるよ」と言われて、今も頑張っています。

生徒 私は逆に、先生に自分が勉強をおろそかにしていた科目をずばっと指摘されて、苦手から逃げていた自分を見つめ直すことができました。

先生 褒められて伸びる人、厳しく言われて頑張る人と、様々だからね。みんなにはまだまだ力が秘められているのだから、自分に負けずに前に進めるよう後押ししていくよ。

生徒 実は、先生に提案があって、超難問に取り組むグループワークをしたいんです。物理の強者ぞろいだから、いろいろな考えが出てきて楽しそうと思って。

先生 先生も同じことを考えていて、単元の最後に行おうと計画なんだ。みんなの志望校の入試問題から、議論が盛り上がるような超難問を出すよ。期待していて！

津田将史先生 教職歴7年。同校に赴任して7年目。進路指導・選抜対策部副部長。2学年担任。

北海道・私立札幌第一高校 全日制/普通科/共学/1学年約400人/2019年度入試合格実績(現浪計) 国公立大は、北海道大、東北大、京都大、大阪大、札幌医科大などに213人が合格。私立大は、上智大、東京理科大、早稲田などに延べ730人が合格。

* アメリカのスタンフォード大学で発達心理学を教えるキャロル・S・ドゥエックが提唱する Growth Mindset のこと。